

対象農用地	農業用施設				■ 農地維持
「農地維持」 26 ha	開水路	パイプライン	農道	ため池	■ 資源向上 (農村環境保全活動まで)
「資源向上」 26 ha	5.3 km	8.2 km	3.8 km	箇所	■ 資源向上 (多面的機能の増進)
農業者 約	50名	活動開始年度	平成 20 年度	活動	10 年目
農業者以外の 構成団体	関戸自治会	101区	102区	関戸営農組合	
	関戸子供会育成会	関戸いきいきクラブ			
地域の概略	<p>本地域は、吾国山、柘山に挟まれた中山間地域で、清廉な稲田川の恵みを受ける水田が谷津田状に続く地域です。平成20年度から活動を始め、平成21年度に「めだか池」を整備し、毎年8月頃に納涼祭を開催するなど地域住民の交流を深めると共に子供たちに自然観察の場を提供して来ましたが、昨年度で廃止となりました。新たな展開として地区内休耕地にヒマワリを植栽し景観形成を図ると共に、地域住民の憩いの場となるような環境づくりに取り組んでいます。</p>				

◆上半期の活動報告◆

水路内の泥上げやゴミ等の除去



いつ:平成29年4月

水路内の泥上げやゴミ等の除去を行い、健全な水路維持を地域全体で取り組みしています。

いつ:平成29年7月

地域環境保全維持・向上を図るため、地域住民と交流会を開催し、景観美化推進に関する意識が芽生えました。



いつ:平成29年7月

地域の自然豊かな環境と動植物の生態に触れ合う、自然観察会を行いました。

いつ:平成29年4月

地域資源の適切な保全管理を図る観点から、地域住民等と意見交換を行いました。



◆今年から新しく取り組んだこと◆

景観形成のための植栽



遊休農地対策として、休耕地にヒマワリを植栽し景観形成を図るとともに、子供たちが自然に触れ合える環境づくりをしました。

◆今後の展望◆

今後、地域住民の高齢化に伴い、耕作放棄地が増える懸念から、農地の有効活用等を地域全体で検討していく必要があります。また、施設・設備も経年劣化時期を迎え、保全予防対策計画を検討していく予定です。

◆平成29年度下半期のスケジュール◆

10月	法面・川岸清掃
10月	景観形成(花の植栽始末)
11月	空き缶・ゴミ回収活動
11月	非かんがい期の水質確認
11月	水路補修
平成30年2月	農道補修
平成30年3月	農用地の芝焼き
平成30年3月	事業年度の活動内容確認